

「的外れ」「聞かれたことに答えない」を繰り返す

誠実な議会対応を 県教育長に申し入れ

3月8日に開かれた2022年（令和4）年2月定例千葉県議会予算委員会で、加藤英雄県議は公立小・中（千葉市を除く）、県立学校で大きな問題となっている教員未配置の速やかな解消を求めました。

この質疑に対する県教育委員会の答弁は、全体として不誠実でした。日本共産党県議団は3月16日、県教育長に「真摯で誠実な議会対応」を申し入れました。（写真：右）18日には、信田光保議長と木下敬二予算委員長に、適切な措置を申し入れました。（写真：下）



3/16 教育長（左）に申し入れ

申し入れ書
はコチラ



3/18 議長（右）に申し入れ

的確でなく、かみ合わない答弁 だった。反省している、と謝罪

富塚昌子県教育長らは「的確でなく、かみ合わない答弁だった。反省している。意図的に、はぐらかしたり、逃げたのではないので理解してほしい」と、謝罪しました。

自らの責任や、取り組みの不備が指摘 ・批判されたり、異なる見解もつ質問 であっても真摯に向き合うべきです

加藤議員の質問内容（要旨）

- ◆新年度スタート時点（4月）から定数内の先生（講師）がいない要因は？
- ◆小学校では5年前より、9人しか採用が増えていない。これで「大量採用」している、と言えるのか？
- ◆教員募集数に、正規教員の急な退職者、（児童・生徒）転入による学級増、採用内定者の辞退数を反映しているのか？
- ◆勘案しているなら、新年度（4月）、始業式時点で教員未配置は、なくなるのか？

県教委の答弁（要旨）

- （教員の）大量採用によって、講師に登録する人が減少している。（欠員時は登録者から講師として採用します）
- 熱意にあふれる優秀な人材の採用に努めている。
- （急な退職者など）見込み数を（募集人数に）勘案している。
- 配置できるよう人材確保に努める。



みわ由美
（松戸市）



加藤英雄
（柏市）

ロシアのウクライナへの軍事行動は国連憲章違反の侵略 軍事行動の即時・無条件中止を求めます

千葉県議会議員団費から、ウクライナへ義援金100万円を大使館を通じて送ることになりました。